

**医学生向け無料情報誌『ドクターラーザ』2012.4創刊**

●発行部数：約6万部（年4回）

医学生に、医療界全体について考える広い視野を持つてもらうとともに、医師会への理解を深めてもらうことを目的として発行。

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

25

#### 日本医師会における女性医師支援・男女共同参画への具体的な取り組み内容 IV. 日本医師会女性医師支援センター事業

女性医師は出産や育児により離職せざるを得ない状況にあり、パートタイム勤務など女性医師がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進を図り、もって医師確保対策に資することを目的とする（厚生労働省委託「女性医師支援センター事業委託費実施要綱」より）。平成18年11月より受託。

1. 女性医師の就業・復職支援（女性医師バンク）
2. 女性医師のキャリア継続支援（研修会等）
3. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助
4. 女性医師支援シンポジウム等の開催

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

26

**就業継続・再研修支援  
女性医師バンク** 平成19年1月30日開設  
[日本医師会女性医師支援センター事業の中核事業]

★ 会員・非会員を問わず利用できる  
★ 求人・求職共に登録・紹介手数料がすべて無料  
★ 専任コーディネーターが相談・マッチングを行う

平成30年9月末現在

■ 就業実績（累計）	778件
■ 求職者数	1,111人
■ 求人施設数	4,363施設

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

27

#### 女性医師バンク 2つの支援体制

##### ① キャリア継続支援（離職防止）

ライフステージに応じた柔軟な勤務形態を選び勤務ができます。

常勤

非常勤

スポット

##### ② 復職支援

再研修のための施設をご紹介しています。  
離職期間の長い方でも安心して復職いただけるよう支援いたします。



女性医師バンクでは、医師としてのキャリアを中断することなく、継続して勤務いただけるよう、女性医師のライフステージに応じた勤務形態の就業先を紹介しております。

結婚、出産や子育てなどの理由で一旦離職された先生方には、再研修施設の紹介を行っております。



28



**日本医師会における勤務医の健康支援に関する取り組み**

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

29

#### 日本医師会における医師の健康支援に関する取り組み

- ・勤務医の健康支援のための検討委員会
- ・産業保健委員会
- ・医師の働き方検討委員会

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

30

「勤務医の健康支援のための検討委員会」 (旧名称: 勤務医の健康支援に関するアドバイザリーボード)	
<b>労基法に照らし合わせた働き方と現在の医療を支え患者を救っている働き方にについて、「現実的なすり合わせ」を検討することで、医師の過重労働を防ぎ、医師の健康と患者の安全、病院組織の健全な運営につなげることを目的として設置。</b>	
1年目(2008・H20年度)	委員会設置
2年目(2009・H21年度)	第1回 勤務医1万人アンケート調査の実施 ⇒「 <b>医師が元気に働くための7カ条</b> 」
3年目(2010・H22年度)	職場環境改善ワークショップをスタート(以後、全国展開)
4年目(2011・H23年度)	「勤務医の労働時間ガイドラインのあり方について」作成
5年目(2012・H24年度)	「勤務医の労務管理に関する分析・改善ツール」作成
6年目(2013・H25年度)	「勤務医の労務管理に関する分析・改善ツール」の改訂
7年目(2014・H26年度)	医療勤務環境改善支援センター主催による初めてのワークショップを開催(三重県)
8年目(2015・H27年度)	第2回の勤務医全国アンケートの実施 ・医療勤務環境改善支援センター業務のアンケート調査実施 ・「 <b>勤務医の健康支援のための15のアクション</b> 」を作成
H28 改正医療法の成立	
関係省庁への働きかけ	

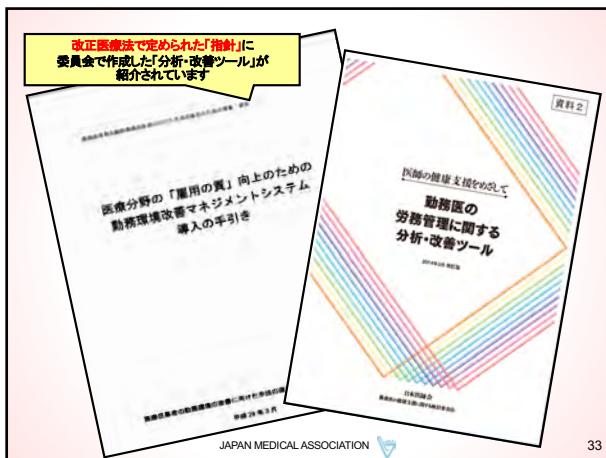
JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

31



JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

32



JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

33

【1】労働時間管理に関する勤務医会への周知	【5】勤務医会の運営会議
1. 現在の勤務時間は、医師の健康を害するおそれがある。 2. 現在の勤務時間は、医師の健康を害するおそれがある。 3. 現在の勤務時間は、医師の健康を害するおそれがある。 4. 現在の勤務時間は、医師の健康を害するおそれがある。 5. 現在の勤務時間は、医師の健康を害するおそれがある。	1. 勤務時間の現状を把握するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 2. 勤務時間の現状を把握するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 3. 勤務時間の現状を把握するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 4. 勤務時間の現状を把握するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 5. 勤務時間の現状を把握するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。
【2】労働時間の適正化実績	【6】勤務医の安全と医療の確保（医療安全監修会議）
1. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 2. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 3. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 4. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 5. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。	1. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 2. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 3. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 4. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 5. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。
【3】労働時間・労務・休日の適切化	【7】女性勤務医の就業支援
1. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 2. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 3. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 4. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 5. 勤務時間の適正化目標を達成するため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。	1. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 2. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 3. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 4. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 5. 勤務医の安全と医療の確保のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。
【4】制度化・標準化実績（制度化・標準化実績）	【8】勤務時間の現状把握（月次評議会）
1. 標準化された勤務時間に関する評議会を行っておりました。 2. 標準化された勤務時間に関する評議会を行っておりました。 3. 標準化された勤務時間に関する評議会を行っておりました。 4. 標準化された勤務時間に関する評議会を行っておりました。	1. 勤務時間の現状把握のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 2. 勤務時間の現状把握のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 3. 勤務時間の現状把握のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。 4. 勤務時間の現状把握のため、定期的に勤務時間に関する調査を行っておりました。

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

34

## 医師の職場環境改善ワークショップ研修会研修の目的

- 知識共有
 

労務管理に関する分析・改善ツールを活用して、医師の健康支援のために必要な改善策を学ぶ
- 経験交流
 

ツール活用、事例検討によるグループワークを通じて、各施設における医師の健康支援に関連した労務管理や診療業務の進め方の良好事例や、経験を交流する
- 自分の施設におけるるべきアクションの明確化
 

事例解説や総合討議を通じて、自分の医療機関における産業保健体制、医師のメンタルヘルス、医師のワークライフバランスなど医師の勤務環境改善の優先策を整理する

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

35

開催地	開催日	会員数	
		大学	中会員
2009年度 日本医師会	2010年3月6日	32	32
横浜医師会	2010年7月4日	44	
松本市医師会	2010年12月23日	40	158
山梨県医師会	2011年2月27日	37	
福井県医師会	2011年3月6日	37	
日本医師会			
日本医師会	2011年5月20日	18	
岐阜県医師会	2011年9月25日	32	
徳島県医師会	2011年10月1日	20	
日本医師会	2011年11月4日	16	
山口県医師会	2011年11月19日	16	
日本医師会	2011年11月25日	30	271
宮城県医師会	2011年12月4日	20	
知覧医師会	2012年1月14日	27	
佐賀医師会	2012年2月5日	19	
佐賀県医師会	2012年2月16日	17	
愛媛県医師会	2012年2月25日	26	
福井市立大学歯学部	2012年3月4日	30	
高崎医師会	2013年3月10日	22	51
茨城県医師会	2013年3月17日	29	
横浜市立大学歯学部	2013年4月20日	33	
千葉県医師会	2013年11月1日	16	114
埼玉県医師会	2014年1月26日	41	
福岡県医師会	2014年2月1日	24	
長崎県医師会	2015年2月8日	22	22
沖縄県医師会	2015年7月12日	32	48
佐賀県医師会	2015年11月1日	16	
佐賀県医師会			
合計	529	167	696

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

36

「勤務医の健康の現状と支援のあり方に関するアンケート調査」

H27年度に第2回の調査 - 主な調査項目に関する前回調査との比較

	前回H21年 (n=3,879)	今回H27年 (n=3,166)	差
<b>■ 勤務状況</b>			
8) 最近1ヶ月間で休日なし	8.7%	5.8%	-2.9%
9) 自宅待機・オンラインが月8日以上	20.1%	17.9%	-2.2%
10) 平均睡眠時間5時間未満(当直日以外)	8.6%	9.1%	+0.5%
11) 当直回数が月4回以上	26.4%	22.5%	-3.9%
11a) 当直日の平均睡眠時間4時間以下	45.6%	39.1%	-6.5%
12) 半年以内に不当なクレームを経験	44.4%	35.6%	-8.8%
<b>■ 健康状況</b>			
13) 主観的健康観(健康でない・不健康)	21.5%	20.1%	-1.4%
14) 他の医師への健康相談あり	45.9%	55.1%	+9.2%
29) 自殺や死を毎週/毎日具体的に考える	5.7%	3.6%	-2.1%
18-33) 抑うつ症状尺度QIDS 中等度以上	8.7%	6.5%	-2.2%
18-33) 抑うつ症状尺度QIDS 重度以上	1.9%	0.9%	-1.0%

勤務環境は改善傾向。他の医師に健康問題を相談する者が増加。  
主観的健康観には変化はほとんど見られず、うつ症状、自殺リスク高い者も未だあり

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

37

勤務医の健康支援に関する検討委員会提唱  
「勤務医の健康支援のための15のアクション」

No	アクション
1	勤務医負担軽減の責任者を選任して委員会等を設置している
2	診療補助者(医療クラーク)を導入し、医師は診療に専念する
3	当直の翌日は休日とする
4	予定手術前の当直・オングルを免除する
5	採血、静脈注射及び留置針によるルート確保を医師以外が実施する
6	退院・転院調整について、地域連携室等が組織的に対応している
7	医療事故や暴言・暴力等に施設として組織的に対応する
8	医師の専門性確保とキャリア支援のため、学会や研修の機会を保証する
9	快適な休憩室や当直室を確保する
10	短時間雇用等の人事制度を導入して、就労形態を多様化する
11	地域の医療施設と連携して外来縮小等を行い、特定の医師の過剰な労働負担を減らす
12	大学や基幹病院の医局、医師会、自治体等の協力を得て病院の医師確保支援を進める
13	時間外・休日・深夜の手術・処置実施に応じて医師に手当を支給する
14	女性医師が働き続けるために、柔軟な勤務制度、復帰のための研修を整備する
15	社会保険労務士等の労務管理の外部専門家を活用する

これらに取り組むとメンタルヘルス、労働生産性、勤務継続意図などに有意な改善効果があることがわかった

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

38

## 産業保健委員会

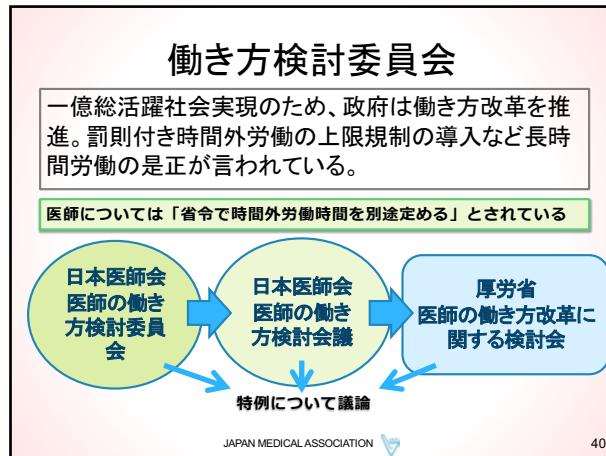
会長諮問 (平成28年9月30日)  
「医療機関における産業保健活動推進のための具体的方策－ 医療の質と安全の向上を目指して－」

検討にあたり、日本医師会の医療機関の施設長に対して、「医療機関における産業保健活動に関するアンケート調査」を実施。  
実施期間: 平成29年3月1日～4月24日 回答数: 1,920名 (回答率38.4%)

平成30年3月7日 答申  
労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度のあり方  
産業医制度のあり方  
医療機関における産業保健活動のための具体的方策

JAPAN MEDICAL ASSOCIATION

39



- 指導的立場、意志決定機関への女性の  
参画についての積極的な取り組み
- ◇ 日本医師会内委員会への女性会員登用調査(平成18年度から2年ごとに平成26年度まで実施)
  - ◇ 都道府県医師会における女性医師に関わる問題への取組状況調査(平成18年度から2年ごとに実施)
  - ◇ 日本医師会理事に女性医師枠の創設を男女共同参画委員会・女性医師支援委員会から要望(平成23年2月、25年6月)
  - ◇ 「2020年30%」の実現へ向けての積極的改善措置(平成23年3月)(ポジティブ・アクション)
    1. 平成24(2012)年度までに、委員会委員に女性を最低1名登用
    2. 平成26(2014)年度までに、理事・監事に女性を最低1名、常任理事に女性を最低1名登用 → (達成)
  - ◇ 「『2020.30』推進懇話会」開催(平成24年1月～)
- JAPAN MEDICAL ASSOCIATION
- 42

## ライフイベントに対する配慮

### 妊娠・出産・子育て・介護

女性医師や若い医師に非正規雇用者が多い。様々なライフイベントを抱えながらも、キャリアアップしながら働き続けられる環境・復帰支援体制の整備が、今後も求められる。

## 医師全体の勤務環境の改善・ 医療への適正な投資

### 過酷な労働環境

男女とも長時間労働、過酷な勤務環境にある。平成16年新医師臨床研修制度発足で、医師不足・偏在、女性医師の問題が顕在化。

特に、若い男性医師の負担が大きく、深刻である。

## 意識改革、女性登用の適切な施策

### 固定的性別役割分担意識

家事、育児、介護は女性の役割であるという固定的性別役割意識は根強い。

指導的立場や意思決定機関への女性の参画は困難。男性中心の医療界における意識改革が望まれる。

## 男女共同参画社会の推進

女性と男性どちらもが、互いを尊重しつつ、その人の事情やその時々の状況にあわせて能力を十分に發揮し、活躍できること。女性が働きやすい職場は、男性にとっても働きやすい。

↑  
ライフイベントに対する配慮

↑  
意識改革、女性登用の適切な施策

↑  
医師全体の勤務環境の改善、医療への適正な投資

